

南大分地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第5号

発行：令和6年2月1日 南大分地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、取組状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

南大分地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

- 令和5年11月22日(水)18:00～
- 南大分公民館 多目的ホール



～地域の将来像(コンセプト)～

後世に自慢できる住みたくなる街、みなみおおいた

《将来像実現に向けた提言》

提言1：道路をはじめとする生活基盤の整備・充実

道路環境の改善や、JRやバスといった公共交通機関の利便性の向上が図られることなどにより、居住する高齢者や子どもをはじめとする交通弱者の安全・安心が確保されるとともに、誰もが快適に移動できる公共交通体系が構築されることを望みます。

【提案事業(4事業)】

- ①交通渋滞の緩和対策 ②高齢者に優しい公共交通網整備 ③安全・安心な道路整備 ④コミュニティバス事業

提言2：人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援

住民交流はもとより、伝統文化の継承や災害対応、子育てや子どもたちの学びの観点から、幅広い世代が集える場として地域コミュニティの拠点を整備するとともに、地域の多様な主体が繋がり、住民自らが地域の課題を発見・認識・共有し、解決していくための取組について支援を望みます。

【提案事業(8事業)】

- ①各校区公民館の新設 ②南大分公民館の移転・新設 ③子どもと高齢者のふれあい事業 ④南大分地区各種団体連合会 ⑤中学生と高齢者のペア活動による安全確認 ⑥地域住民同士の交流の促進 ⑦子どもから高齢者まで健康なまちづくり ⑧河川を活かしたまちづくり

提言3：郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信

住民が改めて郷土の素晴らしさを認識し、愛着を深めるとともに、本地域の地域資源である歴史文化を活かし、地域外に本地域の特性と魅力を発信するための取組について支援を望みます。

【提案事業(1事業)】

- ①旧跡めぐりサポーターの育成

■ 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について(抜すい)

提言1 「道路をはじめとする生活基盤の整備・充実」

- (R5～R6) 市道城南小学校線ほか1路線道路改良事業
- (R5) 国道10号(花園～元町間)の4車線化について国土交通省九州地方整備局へ要望
- (継続) 県道小狭間大分線の拡幅について県に対し一層の働きかけを実施
- (継続) 大石町1丁目～庄の原間のふれあい交通について、毎年利用者との意見交換を行い時刻表・運行ルートの見直しを実施



国道10号(花園～元町間・広瀬橋付近)



中学生ボランティア隊(たこあげ大会)

提言2 「人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援」

- (R5) 中学生ボランティア隊の取組…7月の「みなみおおいた夏祭り」において、アンケート協力者に人権啓発うちわ及び風船を配布。12月の「三世代交流たこあげ大会」でも会場設営や炊出し支援などで大活躍!
- (R5) 公民館自主サークル主催「健康マージャン交流大会」実施
- (継続) 高齢者等とボランティアによる「通学路見守り隊」活動(全4校区)



健康マージャン交流大会

提言3 「郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信」

- (R5) 従来の歴史めぐりに加え、親子などで長距離完歩に挑む「親子チャレンジコース」を新設し「みなみおおいたもつと発見! 歩くDay」として実施
- (R6～) 公民館の新しい地域まちづくり講座「実践! カメラ講座」を開催予定



みなみおおいたもつと発見! 歩くDay

■ 事前アンケートの結果について(対象:フォローアップ会議委員)

本会議の活性化を図るため、地域まちづくりビジョンに掲げる13の提案事業について、委員の関心度やそれに対する意見を事前にお伺いするアンケートを実施しました。

【13の提案事業のうち、関心が高かった上位3事業】

順位	事業名	主な意見
1位	安全・安心な道路整備	歩道が狭い上段差が多いため通りづらい。また、歩道橋しかない・横断歩道が長い区間設置されていない場所もあるなど、交通安全上危険な箇所が多い。
2位	地域住民同士の交流の促進	子どもと高齢者が安心・安全にふれあえるまちづくりが何よりも最優先!
3位	交通渋滞の緩和対策	南大分方面から大道トンネルにかけての朝の渋滞がひどい。南大分は旧道が狭い。できるところからで良いので拡幅をお願いしたい。

※上位3事業以外についても多くのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

【その他の要望】

- ・委員の高齢化や長期化に関すること…若い世代にバトンタッチできないか?
- ・会議の手法に関すること…地域がわくわくするような「夢を語る会」にできないか? など

【問い合わせ】南大分公民館 TEL: 544-6688 ■ 本回宛物は南大分市ホームページにも掲載しています。

意見交換の要旨

委員の意見

事務局の回答

提言1について



以前要望した畑中～豊饒間の小学校通学路の歩道改良について、現在の取組状況はどうなっていますか？

当該区間については、現在下水道工事の状況を踏まえ、電柱などの移設について検討しているところです。
今後、自治会など地元の皆さまと情報共有を図りながら検討を進めてまいります。



昨年の会議で大道トンネル～三ヶ田町バス停間における横断歩道の設置をお願いしましたが、警察から「歩道橋を設置している箇所原則横断歩道は設置できません」との回答がありました。
しかし、南大分管内にも両方設置されている箇所もあります。
高齢や障がいなどにより歩道橋を通れない方もいますし、ふだんは歩道橋を利用する小中学生も休みの日は自転車を使うので、横断歩道は設置すべきではないですか？

横断歩道の設置については、交通量や交差点の形状などさまざまな要件があるようですが、ご指摘のように両方設置されている箇所もございますことから、今後も設置に向け粘り強く働きかけてまいります。



現在大石町1丁目～庄の原の間で「ふれあい交通」が運行されていますが、運行開始当初、大変多くの方が登録していましたが、現在は11人まで減っています。
実際、利用している方は大変喜んでいますが、1便あたり平均1.2から1.3人と利用が少ないです。
もう少し利用が増える工夫をしてもらえるとありがたいと思います。

地域で開催するふれあい交通の説明会などを通じて、利用者の意見を聴いてまいります。

全体をとおして



現在、富士見が丘団地で市が小型の電動バスを走らせているようですが、あのバスを高齢者のひきこもり対策として利用したいと考えています。
今後要望すれば南大分地域でも走らせてもらえますか？

高齢化が進む住宅団地の移動支援策を検討するため、富士見が丘団地で約1ヶ月間、低速の電気自動車を使って実証実験を行っています。
現時点で新たな地域での実証実験は予定しておりませんが、事業性や採算性を考慮したモデルケースを交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、検討してまいります。

たくさんのご意見ありがとうございました！



～今後のフォローアップ会議のあり方について～

フォローアップ会議の設置から5年を経過し、南大分地域では多くの取組が進んでいる反面、中長期的に検討が必要なものや現時点で実現困難な取組もあります。

そのため、これまで事業の進捗よく状況の報告がメインであったこの会議の今後のあり方について委員の皆さまのご意見をお聴きすることといたしました。

南大分地域では、事前に委員の皆さまに調査票を送付し、方向性として「①このまま継続」「②現行の会議のあり方を見直して継続」「③会議を終了・中断」の3つの選択肢から選んでいただいた上で当日お一人ずつご意見を伺いました。

委員の皆さまからはさまざまな意見をいただきましたが、その結果ほとんどの方が②と③の意見でした。

大分市では他の12地域での結果を踏まえ、今後の会議のあり方について検討してまいります。